

令和5年度 第2回 天王寺区政会議

日 時：令和5年12月11日（月）

午後7時00分～午後8時52分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

出席者

（区政会議委員）

池田委員、岡崎委員、栗谷委員、佐藤（和代）委員、平嶋委員、山田委員、
吉田委員、飯田委員、江畑委員、奥野委員、川畑委員、東川委員、橋本委員、
服部委員、堀井委員、石野委員、上田委員、佐藤（哲司）委員、佐野委員、
高橋委員、竹田委員、長谷川委員、藤本委員、榊井委員*、岡内委員、児玉委員、
酒井委員、立川委員、舟本委員、宮寄委員、三輪委員、森谷委員、安田委員*

※榊井委員、安田委員はオンライン参加

出席33人／定数36人

（市会議員）

須藤議員

（天王寺区役所）

加藤区長、高野副区長、丸谷企画総務課長、森岡事業戦略担当課長、
高橋（典良）企画総務課長代理、武部市民協働課長、
渡邊教育文化担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、
住田市民協働課地域活動支援担当課長代理、
羽根市民協働課安全まちづくり担当課長代理、
近藤市民協働課教育文化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区

教育担当課長代理、大島保健福祉課長、

寺戸子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、

南野保健・生活支援担当課長、高橋（幸子）保健福祉課福祉担当課長代理、

森本保健福祉課子育て支援担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺

区教育担当課長代理、黒田保健福祉課保健・生活支援担当課長代理、

尾古貴窓口サービス課長、庵保健福祉課担当係長

○森岡事業戦略担当課長

それでは、定刻が参りましたので、ただいまより令和5年度第2回天王寺区区政会議を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。私は、天王寺区役所事業戦略担当課長の森岡でございます。どうぞよろしくお願いたします。

まず、先日お送りいたしました資料について、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたらお申し出ください。手を挙げていただきましたらお渡しさせていただきます。皆様、資料をお持ちでしょうか。

資料につきまして、別途机のほうに「地域福祉ビジョンの策定について」と「区制100周年事業ふるさと寄附金募集中」という資料を配付しております。それぞれの内容は地域福祉・健康班と情報発信班においてご意見を伺うこととなりますけれども、区政会議委員皆様にご覧いただきたい資料としまして配付しておりますので、そちらも併せてご確認のほどよろしくお願いたします。

議題等に入ります前に、本日ご出席の委員の皆様をご紹介させていただきます。

本日ご出席の委員の皆様につきましては、机の上に置かせていただいております配席図のとおりとなっております。本年10月1日から令和7年9月30日を任期としまして、地域団体のご代表23名、公募委員13名、合わせて36名の方々にご就任いただいております。ご就任いただきました委員の皆様は、資料1の「区政会議委員

名簿（班別）」のとおりでございます。個別のご紹介は割愛させていただきます。

なお、子育て教育班の平田委員、大野委員、地域福祉・健康班の南委員におかれましては、本日欠席の旨のご連絡をいただいております。また、地域社会づくり班の榊井委員、情報発信班の安田委員は本日、オンラインによる参加となっております。

また、区政会議には、お忙しい中、須藤議員にご出席をいただいております。ありがとうございます。本日も議題の最後に、ご助言、ご意見をいただきますようお願い申し上げます。なお、金子議員におかれましては、所用によりご欠席となりました。委員の皆様にはくれぐれもよろしくお伝えするようにお聞きしておりますので、よろしくお願いたします。

なお、本会議は公開となっております。会場内のカメラ撮影は議事の全てを対象とさせていただきますことを、ご了承願います。

議事録等の作成のため、事務局で会議の様子を録音させていただきます。また、全市的な取組としまして、多くの方に会議の模様をご覧いただけるように、本日の区政会議より、会議の内容を録画の上、後日インターネット配信を行いますので、ご了承くださいませよう、お願いたします。

本日の会議は、傍聴の方がお見えです。本会議は分科会形式で進行してまいります。各班での審議の際、傍聴者の方は、後ほど移動する各会議室を回って傍聴いただいております。差し支えありませんが、傍聴要領を遵守いただきますようお願いいたします。

なお、本日の区政会議の様子を広報紙等に掲載いたしますので、会議中何枚か写真を撮らせていただきますこと、ご了承いただきますようお願いいたします。

職員からの説明は端的に、簡潔に心をかけさせていただきます、できるだけ委員の皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思いますと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは次第に戻させていただきます。

次に、加藤区長よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

○加藤区長

皆さん、こんばんは。天王寺区長の加藤でございます。本日は大変お忙しい中、区政会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また、皆様方には、区政運営に多大なるご理解、お力添えをいただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。いつもありがとうございます。

さて、本日は今年度2回目となります区政会議ですけれども、先ほどもありましたように、委員改選後初めての区政会議となります。10月の改選によりまして22名の方々を新たに委員としてお迎えすることとなりました。皆様と様々な施策事業につきまして意見交換させていただきながら、できるだけ改善、見直しなどを積極的に取り組んでまいりたいと思っております。引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日の議題でございますけれども、先ほどもございましたように令和6年度区運営方針（素案）、それから天王寺区地域福祉ビジョン（素案）の2点となっております。これらの説明をさせていただきまして、皆様方の関心の高いテーマにつきまして班に分かれてご討議いただくこととしております。

委員の皆様方の発言をできるだけ確保できるように、私ども簡潔にご説明させていただきたいと思っておりますので、限られた時間ではございますけれども、様々なお立場から厳しいご意見を含めまして多様なご意見をいただければと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

先月末には、2025年大阪・関西万博まであと500日というところまでまいりました。2025年は天王寺区にとりましても区制100年を迎えるという節目の年でもございます。この機を捉えまして、より一層天王寺区を盛り上げるための取組を進めてまいりたいと考えてございますので、皆様方のさらなるご理解、またお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日も限られた時間ですけれども、どうぞ最後までよろしくお願い申し

上げます。ありがとうございます。

○森岡事業戦略担当課長

それでは、次第に従いまして議長及び副議長の選任に移らせていただきます。

本日資料としてはおつけしておりませんが、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条では、区政会議の委員は、その互選により議長及び副議長を選任するものと記載されております。10月1日からの新たな任期での初めての区政会議となりますので、議長及び副議長を選任する必要があります。

まず、議長の選任ですが、事務局としましては、区地域振興会のご代表であります竹田委員にご就任いただいております。また、副議長の選任につきましては、事務局といたしまして区社会福祉協議会のご代表であります服部委員にご就任いただいております。どうかと考へております。また、副議長の選任につきましても、事務局といたしまして区社会福祉協議会のご代表であります服部委員にご就任いただいております。どうかと考へますが、ご異議ございませんでしょうか。

(拍手)

ありがとうございます。それではご異議がないようですので、竹田委員、服部委員にご就任いただきたいと思います。恐れ入りますが、お二方は議長席、副議長席のほうにお移りいただきますよう、お願いいたします。

それでは、竹田議長からご挨拶をお願いいたします。

議長、よろしくお願ひいたします。

○竹田議長

ただいま今回の議長に選任されました竹田でございます。よろしくお願ひします。

今回のメンバーは、各地域諸団体のご代表と公募により選出された方で構成されております。行政には今回でいただいた貴重なご意見をよりよい施策、事業の推進に反映していただきたいと思います。皆様には最後までよろしくお願ひいたします。

なお、議事進行は服部副議長にお願ひします。

服部副議長、よろしくお願ひします。

○森岡事業戦略担当課長

続きまして、服部副議長、ご挨拶をよろしくお願いいたします。

○服部副議長

ただいま副議長に選任いただきました服部でございます。

皆様方のご協力をいただきながら不慣れではございますけれども、議事進行を務めてまいりたいと思っております。何とぞよろしくお願いいたします。

○森岡事業戦略担当課長

それでは、服部副議長、進行をお願いいたします。

○服部副議長

本日は、皆様のご協力の下、会議が有意義なものとなりますよう進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

初めに、事業戦略担当課長より本日の流れを説明いたします。

○森岡事業戦略担当課長

本日の議題は「令和6年度天王寺区運営方針（素案）」、「天王寺区地域福祉ビジョン」について取り扱うこととします。

議題について、まず、加藤区長より説明の後、審議に移っていただきます。本日は、分科会形式による各班でのご審議をお願いいたします。班ごとに担当するテーマ・経営課題を中心に、8時20分頃まで各班でご議論いただきまして、その後、各班で出された意見等を報告、全体で共有いたします。司会・進行は、各施策・事業を所管する課長・課長代理が担当させていただきます。

議題については、8時40分頃に終了し、引き続き、区長より一言申し上げます。最後に、須藤議員よりご助言、ご意見をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、事前にお送りしておりました「令和5年度区政会議に関するアンケート」につきまして、本日の会議終了後にご提出いただける場合は、お帰りの際に事務局にお渡しください。本日も提出いただけても構いませんので、12月22日までに郵

送くださいますよう、お願いいたします。

流れの説明は以上でございます。

○服部副議長

それでは、加藤区長より、資料2「令和6年度天王寺区運営方針（素案）について」の3ページから6ページを中心に説明をお願いしたいと思います。

また、資料3「天王寺区地域福祉ビジョン」については、区長からの説明の後、担当課長より説明していただきます。

それでは、加藤区長、お願いいたします。

○加藤区長

それでは、資料2「令和6年度運営方針（素案）について」という資料に基づきまして、ご説明を申し上げます。着座にてご説明させていただきます。お手元の資料はよろしいでしょうか。

中身に入ります前に、この運営方針というものですけれども、これは全市的な方針であります市政運営の基本的な考え方、また市政改革プラン、こういったものを踏まえつつ、天王寺区の将来像、使命、それから経営課題、またそれらとともに課題解決のための取組をお示しするといったものでございます。

それでは、3ページをお開きいただければと思います。まず、区の目標としておりますけれども、天王寺区将来ビジョンに掲げております5つの柱、これの実現を目標として掲げているところでございます。

次の4ページですけれども、先ほどの目標についてその実現を図るための使命として2点掲げてございます。1つ目としては、より区民に身近な立場から「ニア・イズ・ベター」を徹底し、地域の特性に応じた施策・事業を展開すること、2つ目といたしまして、持続可能な財政運営を図るために、選択と集中を進め、そこに記載してございますような施策に重点化を図りながら取組を進めること、これらを区の使命としているところでございます。

次の5ページをご覧いただきたいと思います。区の目標の実現に向けた方針といたしまして、区運営の基本的な考え方ということで4つの経営課題にまとめてございます。これらの経営課題につきましては、それぞれ取組の方向性等につきましてこの後テーマ別の班に分かれてご説明をいたします。私どものご説明の後、ご議論をいただきたいと考えてございます。

詳細はそちらに移させていただきます。次の6ページにポイントをまとめておりますので、ここで簡潔にご説明させていただきますと思います。

重点化の方向として1つ目ですけれども、左の上の吹き出しになりますが、待機児童対策に引き続き取り組むとともに、課題を抱える子どもや家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めてまいります。

2点目としまして、その下でございますけれども、地域の見守りやマンション防災などに取り組み、区民の皆さんの安全・安心を守り、より身近な地域のつながりづくりにつなげてまいります。

その右でございますけれども、3点目といたしまして、区民の皆さんとともに、天王寺の魅力を発信、活力あふれるまちをめざしてまいります。

併せて、その欄外でございますけれども、2025年区制100周年に向けまして、より一層天王寺区を盛り上げてまいり所存でございます。これらの取組でございますけれども、継続した取組が必要なものが多くございます。また、成果を上げるためにもなかなか難しい課題もございます。そういう認識の下ではございますけれども、引き続きしっかりと課題と向き合い取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

非常に雑駁ですけれども、班別討議に説明を委ねることといたしまして、私からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○大島保健福祉課長

皆さん、こんばんは。保健福祉課長の大島でございます。

日頃より区政会議委員の皆様方におかれましては、地域福祉の推進にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

それでは、私から「天王寺区地域福祉ビジョンについて」資料に沿ってご説明させていただきます。着座にて説明させていただきます。

まず、お手元の資料の確認ですけれども、計4点ございます。まず、本日お配りしておりますA4判1枚ものの「天王寺区地域福祉ビジョンの策定について」ですね、先日、区政会議資料としてお送りしております「天王寺区地域福祉ビジョン（案）概要版」、「天王寺区地域福祉ビジョン（素案）」、そして「資料編・用語解説編」のご用意をお願いしたいと思います。資料のほうは大丈夫でしょうか。

○佐野委員

マスク取ってください。聞こえませんよ。

○大島保健福祉課長

すみません、ちょっとマスクを外して説明させていただきます。聞き取れますでしょうか。よろしいでしょうか。

資料をもう一度言いますけれども、まずA4判1枚ものの今日お配りしております「天王寺区地域福祉ビジョンの策定について」、そして先日、区政会議資料としてお送りしております「天王寺区地域福祉ビジョン（案）概要版」、「天王寺区地域福祉ビジョン（素案）」、そして「資料編・用語解説編」というもので、全部で4点ございます。資料のご用意をよろしくお願いしたいと思います。

それでは、説明をさせていただきます。本日は時間の関係もございますので、地域福祉ビジョンの全体概要についてはこの場でご説明させていただきますが、説明については簡単にさせていただきます。この後、テーマ別の班に分かれご議論いただくこととなりますので、地域福祉ビジョンに関しましては地域福祉・健康班のほうでご説明させていただきますので、ご了承願いたいと思います。

それでは、この間の経緯と今後のスケジュールにつきまして簡単にご説明させてい

たきます。

まず、「天王寺区地域福祉ビジョン策定について」と書かれた資料をご覧ください。第1回の区政会議におきまして現計画における考え方や取組の方向性、計8項目の取組についての振り返りと評価を報告いたしました。また、次期計画の策定ポイント、新たな要素と今後の策定スケジュール案についてもお示しさせていただきました。

続いて、今年度は委員の皆様任期2年に伴う改選の年でもございましたので、10月26日に新たに委員になられた方も含めまして、区政会議の説明会を実施させていただきました。その中で地域福祉ビジョン（素案）の説明とそのアンケートを実施し、委員の皆様から貴重なご意見等をいただいております。ありがとうございます。

また、第2期計画における課題や地域計画策定に伴う新たな要素を踏まえ、取組項目についても現在の8項目から6項目へと一部見直しを行わせていただきました。

本日の第2回区政会議におきまして、前回の説明会でいただいたご意見等を素案に反映したほか、現在大阪市におきましても次期計画となります第3期大阪市地域福祉基本計画の策定に向け進められておりまして、当区におきましても大阪市の倣って同時並行で作業を進めておるところでございます。

今回、市の計画でも示されている基本理念、基本目標に基づき、当区の素案と内容を照らし合わせ、必要に応じて随時修正を行っているところでございます。また、本日の説明を踏まえ現時点での素案に対し、各委員の皆様方からのご意見等があればお聞かせ願えればと考えております。

次に今後のスケジュールですが、年明け1月10日から2月9日までの1か月間、天王寺区において策定する地域福祉ビジョンの案について、広く市民の皆様方からご意見をいただくため、パブリックコメントを実施させていただきます。意見の募集期間といたしましては、令和6年1月10日の水曜日から2月9日の金曜日までの1か月間としまして、周知方法といたしましては広く周知する必要からホームページへの掲載、年明けには区広報紙1月号にも掲載を予定しております。

資料の閲覧及び配架場所につきましては、天王寺区役所の1階区民情報コーナー、福祉関係の窓口であります区役所2階の保健福祉課の窓口、また地域福祉活動を担っております天王寺区社会福祉協議会ゆうあいのほうにも資料を配架する予定となっております。パブリックコメント実施後には、寄せられたご意見等の集約整理を行い、3月初旬頃には実施結果につきまして公表させていただきますとともに、所定の手続を行った上、天王寺区地域福祉ビジョンについて令和6年4月1日付で策定、施行を行ってまいります。

それでは続いて、地域福祉ビジョンの内容につきまして概要版にて説明させていただきますので、概要版の資料のご用意をお願いいたしたいと思っております。A4の1枚ものになっておりまして、パワーポイントの資料となっております。ご準備はよろしいでしょうか。

それでは、この「天王寺区地域福祉ビジョン（案）概要版」を説明させていただきます。まず、今回計画における課題や新たな要素を踏まえ、2024年、令和6年から5年間に取り組む方向性につきまして、地域を取り巻く情勢や様々な福祉課題に的確に対応するために、現計画の取組の一部見直しを行いました。

まず、天王寺区地域福祉ビジョンにおける基本理念と5つの基本理念の考え方につきましては、現行の地域福祉ビジョンから踏襲いたしまして基本理念である「だれもが安心して自分らしく地域でいきいきと暮らせるまちづくり」をめざしていきます。

次に、この2つの基本目標に掲げています裏面をご覧ください。まず、基本目標の1つ目としまして、支え合う地域づくりの中で1つ目としまして、人と人とのつながりの中において、お互いが配慮し存在を認め合い、支え合うことで、地域で孤立せずその人らしい生活を送ることができるような「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めてまいります。この基本目標1においては、見守り活動による地域のつながりづくり、だれもが自分らしくいきいき暮らせるまちづくり、多様な主体による連携・協働及び地域福祉活動、福祉人材の参加促進、災害時等における要援護者の

支援及び地域におけるつながりづくりの4項目について取り組んでいきます。

2つ目としまして、支援を必要とする全ての人に必要な支援が行き届く地域社会の実現に向けまして、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」を進めてまいります。この基本目標2におきましては、子育て支援体制の充実・情報発信、それと様々な分野の支援がつながる相談・連携の包括的支援体制の充実について取り組んでいきます。具体的な取組や内容につきましては、素案に掲載させていただいておりますので、またお時間があるときにもご覧いただければと思っております。

時間の関係によりまして申し訳ございませんけれども、地域福祉ビジョンの策定に係るご説明につきましては、これで終了とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○服部副議長

それでは、ここから班ごとの審議に移ってまいります。事業戦略担当課長から案内をお願いいたします。

○森岡事業戦略担当課長

それでは、班ごとの会議室をご案内させていただきます。子育て・教育班は5階、市民活動団体交流スペースへ、地域社会づくり班は502会議室へ、情報発信班は301会議室へ、地域福祉・健康班はこのまま講堂で行います。係の者が後ほどご案内いたします。

須藤議員におかれましては、よろしければいずれかの班、または順次各班を回っていただきまして、意見交換の様子をご覧いただければと思います。

各班でご議論いただきまして、こちらへの戻りを8時20分をお願いしたいと思います。それでは係の方は皆さんを各会議室までご案内ください。すみません、8時20分を8時半までとさせていただきたいと思います。8時半まででよろしくお願いいたします。

(分科会討議)

○服部副議長

失礼いたします。皆さん、戻ってこられましたでしょうか。それでは各班で出ました意見等について、記録係より報告をお願いいたします。

○子育て・教育班記録係（寺戸課長）

子育て・教育班でご意見を承りました件について、報告させていただきます。

まず、池田委員より、学びの場の情報は現在ホームページだけであろうと。SNS、プッシュ通知とか、そういったものを最大限活用すべきとの意見がございました。

岡崎委員からは、ライン登録を促すチラシを、校園を通じて保護者に配付し、周知を図ってほしいというご意見。

栗谷委員からは、学校現場、先生やSSW（スクールソーシャルワーカー）の生の声を聞くことでよい例を共有できる。子どもが達成感を得られるような目標が必要で、それをもって褒めてあげることがさらに必要であると。以前、区が実施していたようなプロスポーツ選手などに来てもらえるよう取組を求めます。近くにサッカーなどで有名な興國高校もあり、生徒に協力してもらえないかというご意見でした。

佐藤委員からは、学びの場の取組をしても、地域の方は「何をしているのかよく分からない」というようなことがありますと。地域を巻き込んだ情報発信・情報提供が必要であるとのご意見がございました。

平嶋委員からは、学びの場の確保についてキャパシティの問題はあるけれども、もっと受け皿を広げるべきとのご意見がございました。

山田委員からは、不登校児童への巡回訪問は大事だろうと、教職員の方は忙しいためなかなか難しいので、教職員以外の方の巡回訪問も考えてはどうか。あと、不登校解決ですが、学校教育だけではない切り口があるということで、職業に触れる体験が大切である。とのご意見がございました。

吉田委員からは、同学年だけでなく異学年の親同士の交流、連携を持つためにも何らかの場所が必要であるとのことをご意見を承りました。

以上、報告いたします。

○地域福祉・健康班記録係（庵係長）

地域福祉・健康班の庵と申します。よろしく願いいたします。

こちら各委員の皆様から様々なご意見をいただいたので、それぞれポイントを基にご説明、報告させていただけたらと思います。

まず、町会の関係といたしまして、服部委員様、川畑委員様、飯田委員様からご意見をいただいております。町会の関係のところ、やはり町会というのは地域のすごく要であるところであるのですが、地域によってすごく温度差があるところがございます。今、地域の中でも町会との関わりが希薄になっているところもございますので、ITの活用であったりとか、情報を得やすい場をととか、情報の広報の在り方というのを見直す中で検討をやっていく必要があるのではないかとご意見をいただきました。そういう意味でも地域における町会長さんとの連携をうまく今後やっていくといたしますか、見直していく必要もあるのではないかとということのご意見をいただいたところでございます。

あと、東川委員様と堀井委員様からは、外国籍の方につきましてご意見をいただいたところでございます。地域によっては住居地とか商業地のほうでマンションが多いところが様々な状況でございます。そういった中でどうしても言語とか文化の違いがあったりして、なかなか町会に加入していただけない、入っていただくことについてご理解をいただくことが難しいところが現状としてございます。そういった方が入っていただけるように、広報の在り方などいうのも合わせてそこはちょっと見直して、併せまして災害とかあったときにもどのように避難したらいいかということの情報発信できるような形というのを考えていく必要があるのではないかとということをご意見をいただいたところでございます。

続きまして、奥野委員様、江畑委員様、橋本委員様から、こちらも災害時とかのことについてちょっとポイントをいただいたところではあるのですが、ここについては主に広報の周知の在り方というのをちょっと見直したほうがいいのではないかといいところでご意見をいただいたところでございます。どうしても独居の方について災害時のときにどうしたらいいのかというところについて、すごく対応を求められるところだと思いますので、今後ラインアカウントなどを増やして高齢者福祉の方に役立つ情報を発信していくとか、併せまして独居のことにつきまして見守りのことについてもご意見をいただいたところではあるのですが、現時点でも75歳以上の方に対して同意を得て見守りを実施しているのですが、そういった件も踏まえまして、情報発信というのと災害時とかの対応策につきまして、引き続き役所としても検討していけたらいいかなということでご意見をいただいたところでございます。

以上となります。ありがとうございました。

○地域社会づくり班記録係（羽根課長代理）

地域社会づくり班からです。

石野委員、梶井委員より、今ちょっと課題として、連合として町会の加入率の低下がある。担い手が高齢化していて担い手が不足している。行政はマンション防災でつながりをつくるというけれど、マンションで完結してしまって、地域と連携できるのが難しい。

高橋委員からは、マンションで防災訓練をしていたが、3分の1ほどしか居住者の参加がなくて、この5年で居住者が新しくなって、もう町会加入が崩れていくのではないかとちょっと危惧しているとのご意見をいただきました。

町会の情報発信について、上田委員、竹田委員より町会の情報は回覧板で見られるが、未加入者には情報が入ってこない。町会や区の掲示板があるけれども、なかなか行き届いていない。区の広報紙が全戸配布になったことで情報が届くようにはなっている。掲示板の活用は有効だと考えているので、イベントを活発に行って、情報発信

を行うことにより人が集まってつながりができていく。これは佐野委員ですけれども、教育の場面で地域とのつながりをあまり言っていないのではないかというようなご意見をいただきました。

長谷川委員、藤本委員より、区がお手伝い体験会を情報発信しているので先日の地域行事でお手伝い参加があったと、こういうことをつなげて広く取り組んでほしいというご意見がありました。ほかに区の掲示板をデジタル、電子化するとみんなが見て情報を取れるのではないか、町会レベルで発信できるツールがあればいいのではないかというようなご意見もありました。

以上です。

○情報発信班記録係（尾古貴課長）

情報発信班です。

情報発信班は、万博機運盛り上げと区制100周年事業、広報紙やホームページ、情報発信の関係でたくさんのお意見が出ましたので、委員さんのお名前はちょっと省略させていただいて。まず広報紙が（月初の）1日に届かない、ポスティングにしたことで3日や5日やそれぐらいにしか届かないのは、イベントの締切りが迫っていて、ちょっと情報として遅いのではないかというご意見もありますし、紙質をよくして見やすくしてほしいという意見もあったのかなと思います。

あと、ホームページとかSNSというのが全盛になってきていますけれども、広報紙、紙媒体がいいという人もまだまだ多いので、そういう人たちも大切にしてほしいというご意見がありました。

ホームページですけれども、情報にたどり着くまでに何回もクリックしないといけないということで、そういうご意見もありましたし、トップページに観光ページを設けていただけたら、ぱっとすぐ分かりやすい、魅力が発信できるのではないかなというご意見もありました。

また、いろんなイベント、町会をまたいでのイベント参加、連合単位ではなくて連

合同士、町会同士のネットワークをつくって発信できていけば、もっと人が集まるのではないかというご意見もありました。

情報が届いていない人の意見を吸い上げる仕組みが必要、広報紙やグーグルフォームで集めてウェブアンケートなどもして、どういう人たちがどういう情報を欲しているのか、そういう調査をしてみて、ぜひフィードバックしてほしいというご意見がありました。

100周年の事業をするのであれば、プレイベントという形でいろんなイベントを全部プレイベントにしていって、みんなが参加すれば自分も100周年の記念イベントに参加しているという意識が出てくるのではないかというご意見がありました。

それから、100周年ロゴとか、広報紙に100周年コーナーを設けてもいいのではないか、子どもたちの意見も載せていけばいいというご意見がありました。

100周年記念の寄附金に関しましては、内容の充実やクラウドファンディングのご提案もいただいたところです。

情報発信班からは以上です。

○服部副議長

各班、ご報告ありがとうございました。

議題につきましては、以上で終了とさせていただきます。ここで区役所に進行をお返しします。

○森岡事業戦略担当課長

竹田議長、服部副議長、ありがとうございました。

それでは、会議全体を通しまして、加藤区長からコメントをお願いいたします。

○加藤区長

本日はたくさんのご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。

新しい委員さんからは当然のことながらかもしれませんが、とても新しい視点でのコメントが多かったかなと思いますし、引き続き委員をお引き受けいただいた

方からは経過を踏まえた形でのご意見を頂戴できたのかなと思っていまして、班の構成も変わりましたので、新しい1回目の会議としては非常にいい方向にたくさんのご意見を頂戴できたのかなと感じております。全ての班別の会議に全部ご意見をお伺いしたわけではありませんけれども、そんなふう感じた次第です。

いつも班別それぞれ課題・テーマを持ってご議論いただいているのですけれども、いつも収れんするのは何となく情報の伝え方ということと、それから行政で全てできるわけではありませんので、結局は地域の中でのつながりづくりみたいところに議論が収れんしていくようにいつも感じているところです。

本当に行政課題というのは非常に多岐にわたっていて難しい部分があるのですけれども、これからますます人口減少社会に入っていくって、職員も確保できなくなる時代がもう本当にすぐそこまで来ている中で、どこまで何をやっていくのかというのは本当に効果的なことに集中していく必要がございます。そういう意味では皆さん方のたくさんいろいろな意見、行政的な課題というのはもちろんお答えできていないかもしれませんが、たくさんハードルはあるのですけれども、いただいたご意見を基にいろいろな検討を重ねてまいりたいと思います。本当に貴重なご意見をたくさんいただけたなと感じているところです。

この会議の在り方自身も、多分初めて参加いただいた皆さんには、この会議の在り方にちょっと思うところもたくさんあるのではないかなというふうに思いますので、率直なご意見、またアンケート等でお返しいただければ本当に幸いに存じます。少しずつ改善していきたいと思いますので、ぜひご意見を賜れましたら幸いです。その点をお願いしまして、あといただいたご意見に対する見解なりはまた整理をさせていただいて、また次回までに公表と、それからお伝えをする形でお答えさせていただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日は本当にどうもありがとうございました。

○森岡事業戦略担当課長

最後になりますが、本日ご出席の須藤議員から一言いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○須藤議員

皆さん、こんばんは。本日は皆さんお忙しい中、まずこのような時間を取っていただきまして、本当に重ねてお礼申し上げます。ありがとうございます。併せまして、いつも区の行政に携わっておられます皆様もいつもありがとうございます。

私、今回会議2回目で、私いつもあまり議員と呼ばれることがなくて、須藤君とか須藤さんと呼ばれていることがあるので、気軽に呼んでいただけたらなと思っております。

まず、私は、天王寺区は日本一の文教地域になれる素質があるなと強く思っております。そして、その中の文教の「文」は文化の文でありますし、次の文教の「教」は教育でございますと。教育については、天王寺区は皆さんご承知のとおり毎年人口が5%ぐらい増えています。今8万5,000人、これあと10年で9万人を超えるというような状況になってきます。ほんの20年前は6万5,000人ぐらいでしたので、約1.5倍になっていくという計算です。

ただ、その中で学校の数は変わりません。なので、今何が起きているかというところ、教室が足りないという問題であったりとか、あと外国人の方が非常に多くなっています。小中学校はまだ子どもが話せたりするのですけれども、幼稚園の場合はお子さんも話せないし、保護者も話せませんと。そういったところで今回お話しさせていただいたのが、区長に私は直接お話をし、学びの生活サポーターというものを使って、各幼稚園に通訳が随時行けるような状況をつくってほしいと、または「いきいき」をもう少し拡張していきたいというところを言ってまいりました。

すみません、長々話す気はありませんので簡単に言うと、今日はヒシマさんという方がいらっしやって、陳情を私にいつも市会に上げてくださいます。例えば勝山通の前の警察署の前の通りですね。あそこ、じつはもう20年前から道路の拡張計画がある

のですが、いまだに進んでいないという状態です。これも市会のほうで上げまして、確実に進んでいくように進めていきたいと思っています。

区でできること、市でできることというのは様々あるのですけれども、皆様の声を確実に僕は届けたいと思っています。そのためのこういった区政会議ですし、議員だと思っていますので、本当になんかどうせ言ったって無理かなと思わないで、小さなことでもいいのでぜひぜひ教えてください。必ず区長とともによい天王寺にしていきたいと思っています。

本日は誠にありがとうございました。お世話になりました。

(拍手)

○森岡事業戦略担当課長

須藤議員、ありがとうございます。

竹田議長、服部副議長、委員の皆様、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第2回天王寺区区政会議を終了させていただきます。

お帰りの際に「令和5年度区政会議に関するアンケート」を本日ご提出いただける委員におかれましては、出口のところで回収させていただきますので、ご提出のほどよろしく願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。